

事業の背景・目的

平成21年より開始された環境省ヤンバルクイナ飼育繁殖業務において、NPO法人どうぶつたちの病院沖縄の取り組みで様々な施策が行われて一定の成果が得られている。その中で、ヤンバルクイナの生息地域内での飼育下繁殖事業において、飼育・飼育下繁殖技術も一定の成果を得られているが、施設が1か所のみにより、感染症や自然災害等々による飼育下個体群の喪失が危惧され、危険分散の必要性が指摘されてきた。指摘されているリスクを回避する目的で、現在の飼育下個体群を他の地域に分散することにより、これまで沖縄県内で傷病野生鳥獣救護やその長期飼育・繁殖技術を有する当財団が分散飼育を行う。

事業の内容

事業① 飼育技術向上・データ収集分析事業

- ・ 個体の受入のために必要なハード整備や治療体制の拡充を進める。
- ・ 近縁種シロハラクイナ等を用いた飼育員の技術向上

事業② 普及啓発事業

- ・ 沖縄こどもの国内において、分散飼育や生息域外保全についてのパネルを先性・掲示する。

得られた成果

事業①については、飼育上のハード整備を行い、実際に近縁種シロハラクイナを用いた飼育を行い、飼育上の安全性や健康管理の維持技術が確認された。また、必要な医療機器や薬品、飼育を行う上での機材を準備した。事業②については、沖縄こどもの国園内において、沖縄県の希少種イベントを実施し、ヤンバルクイナを含む沖縄県の天然記念物について、琉球大学やNPO法人どうぶつたちの病院と共同で、生息環境や保全の必要性についてパネル展示やワークショップを行った。このイベントはマスコミの取材も受けて県内にイベントの趣旨を広く周知した。